

台風5号に対する農作物技術対策

平成30年6月8日

塩谷南那須農業振興事務所

6月8日12時45分気象庁発表の「台風5号に関する情報」によると、台風5号は、8日12時現在、フィリピンの東にあり、時速15kmで北西へ進んでいます。今後、台風5号は、沖縄の南で進路を変え、日本の南海上を北東に進む見込みです。

一方、梅雨前線が日本の南海上を東西にのびています。台風の北上に伴い梅雨前線が北上し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、前線の活動が活発となる恐れがあります。

栃木県では、10日から雨が降り始め、その後12日にかけて大雨となる可能性があります。また、台風の接近により、風が強まる可能性があります。

ほ場の冠水、滞水等による農作物への影響が懸念されますので、事前・事後の排水対策に努めて下さい。

I 普通作物

1 水 稲

事前対策

- (1) 台風後速やかに排水できるように排水路のゴミ等を取り除いておく。

事後対策

- (1) 冠水および浸水したほ場は、速やかに排水に努める。水尻を開け、水位の低下とともに排水するが、冠水しているようなほ場は畦畔を切って早めに排水する。

2 麦 類

事前対策

- (1) 冠水・浸水しないよう、ほ場周囲に排水溝を掘る。

事後対策

- (1) 冠水および浸水したほ場は、速やかに排水に努める。排水の悪いほ場では畦畔を切って早めに排水する。
- (2) カビの発生による変色や倒伏は別刈りを行い、品質低下を防ぐ。

II 野 菜

1 野菜全般

事前対策

- (1) 滞水しやすいほ場は排水溝を設置する。
- (2) 強風による損傷や倒伏を軽減するため、枝を支柱やネットによく固定しておく。

事後対策

- (1) 滞水したほ場は、速やかに排水に努める。
- (2) 病害の発生が懸念される場合は、薬剤防除を行う。

2 いちご

事後対策

- (1) 親株床及び育苗床で泥はねがあった場合は、動噴あるいは細かい孔のじょうろ口を用い、生長点についている土砂をよく洗い流す。

(2) 炭疽病、メセンチュウの発生が懸念される場合は薬剤防除を行う。

Ⅲ 果 樹

1 果樹全般

事前対策

- (1) 滞水しやすい園地は排水溝を設置する。
- (2) 状況に応じて収穫中の品目の取り込みを行う。

事後対策

- (1) 滞水した場合は、速やかに排水に努める。
- (2) 落果果実は拾い集めて園外で処分する。
- (3) 病害の発生が懸念される場合は、薬剤防除を行う。

Ⅳ 花 き

1 花き全般

事前対策

- (1) 排水路、ほ場内排水溝等の点検・補修を行う。
- (2) 露地ぎく、露地りんどうでは、ネットの上げ方が不十分であると茎上部が風で折れることがあるので、適宜引き上げておく。

事後対策

- (1) 冠水および浸水した場合は、速やかに排水に努める。
- (2) 倒伏したきく、りんどう等は、早急にネットの調整、手直しをおこなう。
- (3) 病害の発生が懸念される場合は、薬剤防除を行う。

Ⅴ 特用作物

1 こんにやく

事前対策

- (1) ほ場内に滞水しないよう排水溝を設置する。

事後対策

- (1) 冠水した場合は速やかに排水を行う。
- (2) 表土が流出して種芋や根が露出した場合には早急に土寄せを行う。
- (3) 腐敗病、葉枯病等が発生しやすくなるので、ほ場が乾いてから薬剤防除を行う。

Ⅵ 飼料作物

- (1) ほ場内に滞水しないよう排水溝を設置する。

Ⅶ 畜 舎

- (1) 天候が回復次第、畜舎清掃とともに、消石灰、逆性石鹼などで畜舎消毒を行い、伝染病等の発生を防除する。

Ⅷ 桑 園

- (1) 蚕室に降雨が吹き込まないようにする。
- (2) 倒れた枝条は脇芽が発生してくるので、早めにせん定利用する。

(注意)

※農薬の使用にあたっては使用基準（使用時期、使用回数）を厳守する。同一成分の使用回数にも制限があるので注意する。

※農薬散布にあたっては飛散防止に十分注意する。